

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	ピーマン20a、初夏穫りブロッコリー30a、秋冬穫りブロッコリー40a、水稻200a
自家労働	2.0人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎————□□□□□□□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場兼農機具庫	木・瓦	26 m ²	1,638,000	25	409,500	409,500	15	27,300	8	191,100	100	7,644
トラクタ	25ps・2WD	1 台	1,845,900	25	461,475	461,475	7	65,925	4	197,775	20	1,582
ロータリ	160cm	1 台	400,050	25	100,013	100,013	7	14,288	4	42,863	20	343
動力噴霧機	6ps	1 台	158,550	33	52,797	52,797	7	7,542	4	22,627	100	905
かん水ポンプ	2.2ps	1 台	131,313	33	43,727	43,727	7	6,247	4	18,740	100	750
管理機	3.5ps	1 台	194,250	20	38,850	38,850	7	5,550	4	16,650	100	666
軽トラック	660cc	1 台	850,000	25	212,500	212,500	4	53,125	2	106,250	100	4,250
合計			5,380,813		1,442,237	1,442,237		198,352		648,505		18,240

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ピーマン	京 波	露地・夏秋	4,300kg	水田転換畑	20a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間 機械利 用時間	組 人員		延労働 時 間
堆肥散布・耕起	前年11/下 5/上	堆肥 苦土石灰	4t 200kg	トラクタ ロータリ		4.0	1	16.0	軽油 18.0
元 肥 畝 立 て マ ル チ	5/中	BM重焼燐 スーパーI B 菜種油粕 珪酸加里 シルバーマルチ	40kg 100kg 70kg 15kg 410m	トラクタ ロータリ 管理機		2.0	2	24.0	ガソリン 2.0
定植・仮支柱立	5/下	苗 くみあい液肥特2号	1,500本		○1番花が白くなった頃が定植適期。 ○遅霜の心配がなくなってから定植 する。		2	30.0	
支柱立て・ネット 張り・整枝	6/中～8/中	イボ竹支柱 キュリネット ハウスバンド	1,240m		○本支柱を立てる。 ○ネットは両端をハウスバンドで補強し、2 段に張る。		2	12.0	
かん水	5/下～9/下				○うね間かん水	14.0	1	14.0	ガソリン 14.0
追 肥	7/中～9/下	NK化成E989	20kg×4回		○5月定植の場合、1番果は摘果。 ○2番果収穫時から、15～20日間隔で 行う。		1	12.0	
病害虫防除	5/下～9/中	スミックス水和剤 ダインジン粒剤5 アトマイヤー1粒剤 リドミル粒剤2 シメトエート乳剤 アデイオン乳剤 カスミンボルト ロプラー水和剤 アルハリン顆粒水溶剤 アファム乳剤 ランマンフロアブル ダコニール1000	400g 5kg 1.5kg 2.4kg 200ml 120ml 900g 300g 200g 300ml 150ml 600ml	動力噴霧機		17.0	2	17.0	ガソリン 14.0
収穫・出荷	7/上～10/下	ダンボール クラフトテープ	860ケース	軽トラック		13.0	2	251.0	
後片付け	11/下				○残さはほ場外へ持ち出し処分する。		2	16.0	
合 計								392.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	868,600	生産量① : 4,300 kg 単価② : 202 円/kg
	主産物価額	0	生産量 :
	主産物価額	0	生産量 :
	副産物価額④	0	
	計 (A)	868,600	
生産	種 苗 費	131,985	
	肥 料 費	67,462	使用資材等は技術体系のとおり
	農 薬 費	33,203	"
	諸 材 料 費	51,943	"
	動力光熱費	8,611	
	農 具 費	20,655	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	2,048	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	0	
	共 済 掛 金	0	
	雇 用 労 賃	3,920	
	減価償却費⑤	99,176	別表のとおり
	土地改良費	5,713	
	支払地代⑥	0	
	小計 (B)	424,715	
費	販売費一般		
	出荷資材費	61,988	
	管理費		
	販 売 諸 費	147,860	
	諸税負担金	6,793	農協賦課金、車検料、固定資産税
	事務研修費	8,340	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦	1,925	借入資本利率2%	
小計 (C)	226,906		
経 営 費 (D)	651,622	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	522,080	農 従 労 働 時 間 : 387.1 生産管理労働時間 14.5 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	1,173,702	主産物単位当たり 273 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本			
流動資本利子⑨	21,452	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)			
固定資本利子	9,120	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	7,333		
全算入生産費 (H)	1,211,607	生産物単位当たり 282 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	216,978	時間当たり 540 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	25	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	-343,007	注) (K) = ③- (H)	
家族労働報酬 (L)	179,073	時間当たり 446 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	-305,102	注) (M) = (I) -⑧	

